

第 58 号

2020. 8. 20

日本歯科技工士連盟機関紙

れんめい

発行 日本歯科技工士連盟
東京都新宿区市谷左内町 21-5
歯科技工士会館内
発行人 石原 義博
編集 日本歯科技工士連盟

杉岡範明会長が四選果たす

監事には衛藤勝也氏、林 隆三郎氏 —— 2020 年度第 1 回評議員会

日本歯科技工士連盟（会長・杉岡範明）は、去る 6 月 27 日（土）、歯科技工士会館において 2020 年度第 1 回評議員会を開催した。新型コロナウイルス感染防止の観点から、書面評決方式を採用しての開催となった。

開会に先立ち議長団の選出があり、河西武嗣評議員（神奈川）が議長に、西澤隆廣評議員（東京）が副議長に選出された。

開会にあたり議長より、書面評決による開催同意が 60 名中 50 名、不同意が 1 名、未回答が 9 名であった旨、ならびに書面評決の返信が 60 名中 60 名からあった旨の報告がなされ、2020 年度第 1 回評議員会の開会が宣言された。議事録署名人の選任は議長一任となり、野島正美評議員（埼玉）、夏目克彦評議員（岐阜）が指名された。会長挨拶は紙媒体での配付をもって代えられた。

その後、議長が議案審議に入る旨を議場に告げ、はじめに「第 1 号議案・2019 年度活動一般報告承認を求める件」について賛否数の確認を事務局に求めた。評議員より郵送された書面評決書を集計した結果、評議員 60 名中 60 名の賛成により可決承認された。次いで「第 2 号議案・2019 年度会計収支決算の



承認を求める件」についての賛否数確認を行った結果、評議員 60 名中 60 名の賛成により可決承認された。

引き続き議長が「第 3 号議案・任期満了に伴う役員選挙の件」に移る旨を議場に告げると、選挙管理委員、選挙立会人、事務局が別室に移動し、評議員より郵送された投票用紙の開票作業を行った。選挙立会人は青木 彰評議員（神奈川）、野島正美評議員、夏目克彦評議員が務めた。

再開後、選挙管理委員会の中山友克委員長（埼玉）より選挙結果の報告があり、会長選挙は杉岡範明候補（北海道）、監事選挙は衛藤勝也候補（広島）、林隆三郎候補（福岡）が当選した旨の報告があった。これを受け議長が議場に承認を求めた結果、いずれも当選が承認された。

最後に議長団より議事進行への協力御礼があり、全日程が終了した。

人生 100 年時代に活躍できる 歯科技工士のあり方を検討する

日本歯科技工士連盟会長 杉岡範明

2020 年度第 1 回評議員会開催にあたりご挨拶申し上げます。

既にご案内のとおり、本評議員会は 3 月 14 日に開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況等を勘案し、今回は事前に行なった評議員会の開催方法についての意向調査の結果を踏まえて、提出議案を書面表決によって審議していただく方法に替えさせていただきます。評議員を始めとする会員の皆様のご理解とご協力が心からお礼申し上げます。

さて、昨年、日本歯科技工士連盟は創立 60 周年を迎えました。その規約第 3 条には「本連盟は、歯科技工士の社会的、経済的地位の向上及び歯科医療の発展を図ることを目的として、民主主義に基づく政治活動を積極的に推進する」と謳われており、この達成のために引き続き、組織一丸となって取り組むことを宣言しました。

少子高齢化が進む我が国で、口腔の健康管理の徹底が健康寿命の延伸に

貢献することが注目されています。しかし、そこに関わる歯科技工士の労務環境は多くの歯科技工士が是認できる状況ではなく、歯科技工士を志す者の減少や、歯科技工士になっても早い段階で離職するなど、免許登録者は増加していますが、従事者は減少する傾向にあります。このままでは、近い将来、持続的に質の高い歯科補てつ物等を供給することが困難になると言っても過言ではありません。まさに、歯科保健医療に関わる政策に大きな瑕疵があると言わざるを得ません。その改善のために、2019 年度も関係団体、行政、国会議員を中心に様々な渉外活動を行なってきました。特に、「歯科技工士に関する制度推進議員連盟」の活動に積極的にに関わり、所属議員に歯科技工士を取り巻く環境改善の必要性を訴え、行政の様々な取り組みを促す活動に繋がりました。さらに今後は「人生 100 年時代に活躍できる歯科技工士のあり方の検討及び歯科技工士に関する課題解決に向けた要望書」を関係者と成案化し、その実現に向けて取り組むことになりました。

あらゆるものが高度に発達した現在の成熟社会にありながら、歯科技工士の環境改善には理解者との連携と協調が不可欠な状況にあります。その関係を構築させるためには、説得力のあるデータと組織の団結が必要不可欠です。現状を憂う声も多々聞きますが、憂いる者一人ひとりが現実を直視し、関わることの責任を自覚しなければ、歴史は変わりません。

この評議員会を経て、日本歯科技工士連盟がさらに発展し歯科技工士の将来を明るくものとするを願い、ご挨拶いたします。

日本歯科技工士連盟 新執行部の顔ぶれ (自:2020年6月28日 至:2022年3月31日)



会長
杉岡 範明 (北海道)



副会長/選挙対策・広報
石原 義博(静岡)



副会長/総務・財務
秋山 佳弘 (徳島)



理事長/総括
大西 清支 (三重)



副理事長/組織対策
西澤 隆廣 (東京)



副理事長/総務・選挙対策
夏目 克彦 (岐阜)



副理事長/財務
阿部 正従 (東京)



常任総務/選挙対策
田中 勝實 (長野)



常任総務/組織対策
鈴木 永吉 (愛知)



常任総務/広報・企画
小谷 和弘 (大阪)



総務
長内 隆 (青森)



総務
大西 稔彦 (大阪)



総務
竹之内泰己 (鹿児島)



監事
衛藤 勝也 (広島)



監事
林 隆三郎 (福岡)



顧問
古橋 博美 (静岡)

会員・賛助会員募集中!

日本歯科技工士連盟では、会員並びに賛助会員を募集中です。詳しくは日本歯科技工士連盟事務局 (info@nichigirenmei.jp) までお尋ねください。

人生100年時代の“プラス年金”



全国国民年金基金

国民年金にゆとりをプラス。自分で入る公的な個人年金。

60歳以上65歳未満の方や海外居住されている方で、国民年金に任意加入されている方も国民年金基金に加入できます。
※非居住者が支払った掛金は、所得控除対象外です。

わたしも入っています。優遇

自由なプランで掛金設定。ライフサイクルに応じて増減も可能です。

掛金は、年金の型と口数の組み合わせで自由に設定ができ、あなたにぴったりのプランが作れます。また、口数単位であれば、加入後に途中変更も可能。各型の掛金額は加入時の年齢(月単位)により異なりますので、詳しくは国民年金基金までお問い合わせください。

【1口目としてA型、2口目にI型を1口加入した場合】

35歳(誕生日)に加入の男性の場合

掛金額	受取額	
60歳までお支払い 月額 17,410円	65歳~80歳 月額 3万円	80歳~終身 月額 2万円

※加入中、受給中(保証期間中)に亡くなられた場合、ご遺族に遺族一時金が支給されます

35歳(誕生日)に加入の女性の場合

掛金額	受取額	
60歳までお支払い 月額 19,520円	65歳~80歳 月額 3万円	80歳~終身 月額 2万円

※加入中、受給中(保証期間中)に亡くなられた場合、ご遺族に遺族一時金が支給されます

資料請求・ご相談・お問い合わせは
お気軽に今すぐこちらへ!



フリーダイヤル ローゴ ヨイクニ
0120-65-4192

www.zenkoku-kikin.or.jp/

全国国民年金基金

検索



※地域によっては携帯電話からはつながらない場合があります。